



QBiC S X1/D1 ユーザーズ・マニュアル



-ご使用前に必ず本書をお読みください。

 本書は本機を正しく使用するために必要な設定・使い方について説 明しています。



はじめに	4
箱の中身を確認する	5
安全にご使用いただくために	6
使用上のご注意	11
QBiC S の特長	19
各部の名称	20
準備する	21
バッテリーを取り付け充電する	21
microSD カードと WiFi カードを取り付ける	22
外部電源を供給する	24
屋外でご使用になる際の注意点	25
警戒動作を始める	26
電源を入れる/電源を切る	26
メンテナンスモードの確認をする	27
警戒を始める	27
警戒をやめる	28
スケジュール録画をオンにする	29
撮影可能時間の目安	29
設定を確認・変更する	30
WiFi モードを確認する	30
インフラストラクチャー通信とは?	31
「アドホック通信」とは?	31
WiFi の設定を変更する	31
WiFi モードのオン/オフを切り替える	31
通信モードを切り替える	31
LED ライトのオン/オフを切り替える	32
時刻設定について	32
工場出荷時状態に戻す	33
マスストレージを利用する	33
マスストレージで接続する	33
ファイル名およびフォルダ構成について	34
QBiC メンテナンスツールを使う	34
ツールをダウンロードする	35
インストールする	35
アンインストールする	35
QBiC メンテナンスツールで設定する	36

モードを切り替える	36
カメラ状態を確認する	36
ネットワークの設定をする	37
映像配信の設定をする	39
基本設定をする	42
スケジュール録画を設定する	45
アップデートを行う	46
QBiC プレイヤーを使う	47
QBiC プレイヤーを操作する	47
QBiC 日数カリキュレーターを利用する	50
GPS 機能について	51
GPS 情報取得について	51
GPS ログファイルについて	52
記録可能な GPS 情報について	52
保存する NMEA メッセージの組み合わせ	52
GPS 情報で時刻を合わせる	53
カメラエラーの内容を確認する	54
本機をリセットする	54
カメラ、ツールのアップデートについて	55
付録	56
本機のお手入れ方法について	56
故障かな?と思ったら	57
LED 動作一覧	59
スイッチ動作一覧	60
主な仕様	61
ツール動作環境	62
アフターサービスについて	63

はじめに

このたびは QBiC S をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 ご使用の前に、この『QBiC S ユーザーズ・マニュアル』をよくお読みください。

おことわり

- 1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられていま す。
- 2. 予告なしに本書の内容を変更することがありますのでご了承ください。
- 3. 本製品および本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万が一 誤りや記載漏れなど、ご不明な点がありましたらご連絡ください。
- 本製品を使用したことによるお客様の損害そのほかの不利益に関しまして、いかなる要求につきましても弊社はその責任を負いかねます。

Copyright © 2013 ELMO CO., LTD. All Rights Reserved. 本書に記載されている商品名は、それぞれの保有者の商標または登録商標です。





出荷に際し、品質や梱包などには万全を期しておりますが、万が一破損や部品不足、その ほかお気づきの点がありましたら、ただちに弊社までご連絡くださいますようお願いいた します。



本書に記載の画面や図は実際のものと異なる場合があります。あらかじめご了 承ください。

安全にご使用いただくために

-安全にご使用いただくために必ずお守りください-

本機を安全に正しくご使用いただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然 に防止するために守っていただきたい事項を示しています。ご使用前に必ずお読みくださ い。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

	危	険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重 傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示していま す。
\wedge	敬言	告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重 傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
0	注	意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可 能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内 容を示しています。

-図記号の意味-

۸	名称: 危険 / 警告 / 注意
<u>/!\</u>	意味: 危険な行為や、警告・注意が必要な行為を示します。
\langle	名称: 禁止
\bigcirc	意味: 禁止(してはいけないこと)を示します。
	名称: 強制
	意味: 強制(必ず実行、お守りいただくこと)を示します。
	名称: 接触禁止
(3)	意味: 接触禁止(してはいけないこと)を示します。
)	感電などの人体への傷害が起こる恐れがあります。
	名称: 分解禁止
(\mathbf{N})	意味:分解禁止(してはいけないこと)を示します。
)	感電などの人体への傷害が起こる恐れがあります。

	⚠ 危 険
	本機で使用するバッテリーは充電式リチウムイオン電池です。温度や湿度の影 響を受けやすいのでご注意ください。
	 バッテリーは本機の専用品ですのでほかの機器には使用しないでください。 ● 強い衝撃が加わり、変形したバッテリーは危険ですので絶対に使用しない でください、発煙、発火、感雲、やはどの原因になります。
Q	 ● バッテリーの充電は専用の器具を使い、必ず指定された方法で行ってください。
	● 不要になったバッテリーは一般ゴミとして廃棄せずにご使用の地域で定められた方法でリサイクルまたは廃棄してください。
	液漏れしたバッテリーは使わないでください。 また、液が目に入った場合はきれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談して ください
\bigcirc	べんさい。 バッテリーは次のような誤った使い方をしないでください。 液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがまたは死亡、火災の原因になります。 ● 全属物と一緒に推帯 保管する
Ŭ	 ● 金属物と一緒に汚帯、床官する。 ● 分解、加工、加熱および水中、火中に入れる。 ● 高温になる場所に置く。
	 ● 落としたり、強い衝撃を与えたりする。 ● プラス(+)とマイナス(-)のまちがい。
\bigcirc	本機を暖房機器等の熱を発するものに近づけないでください。また火の中に投 げ入れたり加熱したりしないでください。
S	 ● バッテリーが発火、破裂し、けがまたは死亡、火災の原因となります。 ● 火災や爆発の原因になります。
\bigcirc	可燃性、爆発性、引火性のガスなどがある場所で使用しないでください。 ● 火災や爆発の原因になります。
\bigcirc	付属のACアダプタを分解したり改造したりしないでください。 ● 内部に手を触れると危険な上、火災・感電の原因になります。
\bigcirc	● 置流電源語として使用しないてくたさい。 付属のACアダプタを水につけたり、ぬらしたりしないでください。
S	また、風西塚、シャワー至寺では使用しないでくたさい。 ● 火災・感電の原因になります。
\bigcirc	ACアダブタの差し込み部は、「カチッ」という音がするまで確実に取り付けて使 用してください。
S	● 不完全な接続のまま使用すると、差し込み部が外れたり、発熱したりして、 火災・感電の原因になります。

	▲ 警 告
	本機のネジを外したり、ケースをこじ開けたりしないでください。 ● 内部には電圧の高い部分があり、発煙、発火、感電、やけど、故障の原因 となります。
	● 内部の点検・修理は、ご購入先または弊社カスタマーサービスまでご依頼 ください。
	本機や付属品などを乳幼児の手の届くところに置かないでください。 ● ケーブルは誤って首に巻きつけて、窒息に至る恐れがあります。
\bigcirc	● WiFiカードおよびmicroSDカードは誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼ
\bigcirc	します。万が一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談くださ い。
	● 本機を足に落としたり、踏みつけたり、下敷きにしたりしてけがをする恐れがあります。
	煙が出る、変なにおいや音などがする場合は、すぐにACアダプタをコンセントか
	ら扱いて、本儀の電源スイツナをオブにするか、注意してハツナリーを取り外し、 すべてのケーブルを抜き、周囲に可燃物がない状態にして、少し離れた場所で、
	煙などが出なくなるまでお待ちください。
U	● 異常状態のまま使用すると、発煙、発火、感電、やけどの原因となります。
	● 煙などが出なくなるのを確認してから、ご購入先または弊社カスタマーサ
	ービスまで修理をご依頼ください。お客様による修理は危険です。絶対に
	おやめくたさい。 おやめくたさい。 本機や仕屋のACマダゴタを落としたり、ごつけたりして過度な衝撃を加えたいで
1000-001	本機や内属のACFラフラを溶としたり、ふうけたりして過度な衝撃を加えないで ください。本機の上に重いものを乗せたりして、圧力をかけないでください。
\bigcirc	● 発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。
\bigcirc	● 本機に衝撃を加えたり、変形が生じたりしますと防水性の保証はいたしか
	ねます。
	本機や付属ACアダプタの内部に水や異物を入れたり、端子部(USBおよびWiFi力
	一トスロット)に直接、配線やヒンなどをはんだ付けしたり、異物を差し込んだり
\bigcirc	しないでくたさい。蝸子部に尻倍外のフラクやコネクラなとを差し込んためしな
	「こくたとし、日本」の反抗に低不らく確実に足したのとことが、たとし、よた、
	● 発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。
	本機は防水ではありますが、すべての状態で防水性を保証するものではありま
	せん。また付属ACアダプタは防水ではありません。雨天、降雪、海岸、水辺お
	よび屋外でのご使用は十分にご注意ください。
	こ () 田田山に本() に 英名か 第1 した 場合 はたたちに 電源 人 イッナ を オフに するか、 注音 て バッテリー た 取 し み し て く だ さい こ その 後 - ご 時 】 生 ま た け 幽分 わっつ
	エ思してハッテリーを取っかしてくたさい。ての後、こ無八元または笄社ガスダ
	 ● 火災・感電の原因となります。

	▲ 警告
	万が一、本機や付属 AC アダプタの内部に水や異物などが入った場合は、AC ア
	ダプタをコンセントから抜いて、電源をオフにするか、注意してバッテリーを
U	取り外し、すべてのケーブルを抜いてください。
•	● その後、ご購入先または弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。そ
	のまま使用すると発煙、発火、感電、故障の原因となります。
	雷が鳴り出したら本機、ACアダプタおよびケーブルが接続されている機器には
\bigotimes	触れないでください。
	● 感電の原因となります。
\bigcirc	WiFiカードは本機の専用品ですのでほかの機器には使用しないでください。
S	● 折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えないでください。
	USB ケーブルは本機の専用品ですのでほかの機器には使用しないでください。
\bigcirc	● USBケーブルの上に重いものを乗せたり、コネクタ部を傷つけたり、加工
S	したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
	でください。発煙、発火、感電、やけどの原因となることがあります。
	屋外でご使用になる場合は市販の屋外ハウジングをご使用ください。
	ハウジング内部を適切な環境に保てるよう、設置環境に配慮した適切な機材を
U	選定してください。
	● 火災・感電の原因になります。

	<u>∧</u> 注意
0	飛行機や病院内などで使う場合は、航空会社や病院などの管理・監督者の指示 に従ってください。 ● 本機が出す電磁波などにより、機材、計器に影響を取ぼす原因になること
	● 本磁が出り電磁波などにより、磁材、計器に影響を及ばり原因になることがあります。
0	 長時間使用しない際や、お手入れの際は、装着品を取り外して、充電していない状態にしてください。(長時間使用しない場合でも、半年に1回は充電してください。長時間充電をしないと充電できなくなることがあります。) ● 通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、発煙、発火、火災の原因になることがあります。
\bigcirc	車内など高温になる場所、湿気やほこりの多い場所で長期間の使用や保管をし ないでください。 ● 火災・感電の原因となることがあります。 ● 本機が変形して故障する場合があります。
\bigcirc	油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かないでください。 ● 火災・感電の原因となることがあります。 ● 防水性が低下することがあります。
\bigcirc	 ケーブルを抜く際は、ケーブルを引っ張らないでください。必ずコネクタ部分 を持って抜いてください。 また持ち運ぶ際は、必ずケーブルを外してください。 ケーブルが損傷すると、発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。
0	本機からケーブルや三脚など装着具を取り外す際は、本機に手をそえて行って ください。 ● 本機がとび出して、落下すると故障やけがの原因になることがあります。
\bigcirc	 白色LEDライトを至近距離で直接見たり、光を人の目に近づけたりしないでください。 視力障害などの原因になることがあります。乳幼児を撮影する際は1m以上離れてください。 乗り物などの運転者にLEDライトを向けないでください。事故を誘発する原因になります。
\bigcirc	本機のレンズを直接太陽に向けないでください。 ● 発煙、発火、やけど、故障の原因となることがあります。
\bigcirc	本機を長時間素手で持たないでください。特に皮膚が過敏な方は、ご注意くだ さい。本機との接触により、皮膚に炎症が発生した場合、すぐに医師にご相談 ください。 ● 本機は熱くなることがあります。長時間素手で持っていると、低温やけど の原因になります。 ● まれに本機の樹脂や金属の材料、材質により、皮膚に炎症を起こす原因と

使用上のご注意

- 本機や付属 AC アダプタの仕様を超える過度な条件下での使用や、お客様の誤ったお 取り扱いにより発生する本機の故障やそのほかの事象については、弊社は一切の責任 は負いかねますので、あらかじめご了承ください。 またこのような場合、保証期間内でも無償の修理サービスを受けることができません。
- USB パッキンシールについて
- USB 端子から常時給電して使用する場合は端子部に USB パッキンシールを付けて ください。ただし、USB パッキンシールを付けた場合でも防水性能は保証されませ んのでご注意ください。 雨や雪が直接本機に降り注ぐ環境での防水性能はありません。

- 屋外での使用について
- 屋外でご使用の際は市販の屋外ハウジングをご利用ください。設置業者とご相談の 上、設置する環境に適した屋外ハウジングを選定ください。
- 事前に必ず試し撮りをしてください。
- 大切な撮影には事前に試し撮りをして、正常に映像や音声が記録されていることを 確認してください。本機以外の不具合により撮影できなかった場合、弊社は一切の 責任を負いかねます。
- 使用上の環境条件は次のとおりです。 温度:0℃~40℃ 湿度:10%~80%
- GPS について
 - GPS は衛星から電波を受信し位置を測定するシステムです。できる限り上空の開い た場所でご使用ください。次のような場所では衛星からの電波を遮断または反射し てしまい、位置が正しく検出できない恐れがあります。
 - ・ 屋内、地下、森や林の中、高い建物や建造物の近く、トンネル内
 - ・高圧電線の近く、磁石や金属、電気製品の近く
 - GPS 衛星からの電波が受信しにくい環境では、GPS の捕捉に時間がかかることがあ ります。
 - GPS 衛星の位置は変化します。撮影する場所や時間、環境によっては正しく測位で きない場合や、誤差が生じる場合があります。
 - GPS 機能はご使用になる国や地域の規則に従ってください。

- WiFi(無線 LAN)の電波について
 - 本機は 2.4GHz 帯の電波法令による適合証明を受けております(適合証明を受けた部 品を使用しております。)
 - ご購入の国以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。
 - 通信状況が悪い場合、設置場所を変更してください。遮蔽物が多い場所など、ご使 用環境によっては、通信に悪影響を及ぼす場合があります。特に次の条件下では通 信ができません。
 - ・本機が水中にある場合
 - ・送受信(本機と対応機器)の間に鉄筋や金属およびコンクリートがある場合
 - 次の条件下では本機を使用しないでください。
 - ・ ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器の近く
 - ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内(免許を要する無線局)の近く
 - ・特定小電力無線局(免許を要しない無線局)の近く
 - Bluetooth 機器や電子レンジ等との電波障害について
 Bluetooth 機器や電子レンジ等と本機は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、お互いを近くで使用すると電波障害が発生し、通信速度の低下や接続に障害が発生する可能性があります。
 接続に問題がある場合は、Bluetooth 機器や電子レンジ等の同一周波数を使用する機

器か、あるいは本機の電源をオフにしてください。

- 防水について
 - 本機は弊社の定める品質基準において防水性能を備えています。しかしながら、すべての条件において無破壊、無故障、防水性能を保証するものではありません。
 - お客様の誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は保証対象外となります。
 - 本機をぶつけたり、落としたりなどの衝撃を加えた場合、防水性能は保証いたしません。

修理(有料)についてはご購入先または弊社カスタマーサービスまでお問い合わせく ださい。

- 本機の内部およびカードやバッテリー、および付属 AC アダプタは防水ではありません。濡れた手で取り扱わないでください。
- 本機の防水性能は海水および真水に対応しております。
- 本機内部は防水ではありません。浸水した場合は故障します。
- 防水性を保つため、本機を低温(0℃以下)および高温(40℃以上)になるところに長時 間放置しないでください。
- 洗剤、石けん、温泉、入浴剤、日焼け止め、薬品などの飛沫がかかった際は、速やかにふき取ってください。長時間放置すると防水性能が劣化します。
- 浸水および衝撃によるデータの破壊に対する責任は負いかねます。

- 耐衝撃性について
- 本機は弊社試験基準(厚さ3cmの合板に1.5mの高さから落下試験)をクリアしています。しかしながら、落下により衝撃部分の塗装剥離、キズ、変形など外観変化は発生します。
- 本機をぶつけたり、落下させたり衝撃を加えた場合、防水性の保証はいたしません。
- バッテリースロット、背面カバー、WiFiカードスロット、および USB カバーの装着 および取り扱いについて
 - カバーやスロットは確実にロックしてからご使用ください。不十分な状態で本機を 屋外や水のかかる場所で使用した場合、浸水の原因になります。
 - 浸水を防ぐため、砂粒、ほこりの多いところや水辺、濡れた手でスロットやカバーの開閉は行わないでください。また、カバーやスロットを閉じる際に、砂粒や液体、糸くず、髪の毛などの異物を挟まないように注意してください。
 - 液体が付着している場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。液体が付着した状態で使用すると浸水の原因になります。また、防水パッキンの側面や四隅にも微小な異物が付着することがありますので気を付けて取り除いてください。
 - 本機の防水パッキンの性能は1年以上経過すると劣化します。1年に1度はお買い 上げの販売店か修理ご相談窓口に相談していただき、交換(有料)することをお勧めし ます。
- 透明ドーム部について
- 本機のフロント部には透明ドーム部がありますが、傷がつきやすいので取り扱いにはご注意をお願いします。
 透明ドーム部に傷がつきますと、位置や大きさによってはクリアな映像が撮影できない場合があります。
 交換(有料)については、ご購入先または弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。
- 次のような場所には保管しないでください。
 - 屋外、湿気やほこりの多い場所
 - 直射日光の当たる場所(自動車内や窓辺)、高温となる場所
 - 氷点下となる場所(寒冷地で暖房のない場所)
 - 冷暖房器具の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
 - 自動車や乗り物内など振動の多い場所
 - 磁石または磁場の近く
 - 薬品などの有機溶剤を使用する場所

- 寒冷地での使用について
- 低温下で本機の金属部品に直接触れると皮膚に傷害が発生する恐れがありますので、 低温下では手袋を装着してご使用ください。
- 結露について
- 結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだ場合などに、本機の内部や外部、特にレンズの内側表面に空気中の水蒸気が凝結して水滴が付いたり、表面にくもりが発生したりすることです。
- 結露した状態で使用すると故障の原因となります。もし本機が結露した場合、電源 をオフにして、外側を柔らかい乾いた布で拭いてから湿気やほこりが少なく温度が 安定(10~30℃が望ましい)した場所に放置し、完全に結露がなくなってからご使用 ください。特にレンズの内側表面に付いた結露が残っていると、クリアな映像にな りません。
- 内蔵マイクについて
- 本機の操作音を拾うことがありますが、故障ではありません。
- 撮影について
- 解像度、動画記録品質等の条件により、録画時間の長さは異なります。
- 本機を撮影禁止場所で使用しないでください。退去を命じられたり、法律により罰 則を受けたり、警察等による拘束、本機の没収を受ける原因となります。
- 本機を迷惑禁止条例等の法律に違反することに使用しないでください。法律により 罰則を受けたり、警察等による拘束、本機の没収を受けたりする原因となります。
- 通常使用時のお手入れについて
- シンナーやベンジン等の強溶剤を使用しないでください。故障の原因となります。
- 本機の清掃は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどい場合は、端子部(USB および WiFi カードスロット)のカバーの装着を確認し、真水で軽く洗い、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 画面上の輝点、黒点について
- 本機は、多くの画素により構成されたCMOSエリアイメージセンサを使用しており、 中には正常動作しない画素が存在する場合があります。出力画面上に輝点、黒点が 見られることがありますが、CMOSエリアイメージセンサ特有の現象であり、故障 ではありません。

- 記録ファイルについて
 - 本機は精密な電子部品で構成されており、動作中に WiFi カードおよび microSD カードを抜いたり、電源をオフにしたり、また、通信中に付属の USB ケーブルが外れた場合、microSD カード内のファイルが破壊されたり、消滅したりすることがあります。

記録したファイルの破壊、消滅による損害については、弊社では一切の責任を負い かねますので、あらかじめご了承ください。

- WiFi カードおよび microSD カードについて
 - 付属品以外の microSD カードはご使用になる前に本機でフォーマットしてください。 また、フォーマットは本機以外では行わないでください。カードの種類やメーカー により、本機で正常に動作できない場合があります。
 - microSD カードにアクセス(録画)中は、WiFi カードを抜いたりしないでください。 誤動作、故障の原因になります。
 - 使用後や保管、持ち運びの際はケースや収納袋に入れてください。
 - microSD カードは消耗品です。定期的な交換をお勧めします。 microSD カードなどのフラッシュメモリは、性質上書き換えを一定回数繰り返すと 正常に保存できなくなることや、保存されているデータが破損する場合があります。
 - 本機を設置して警戒録画を行う際は、必ず microSD をフォーマットしてください。 フォーマットせずに警戒録画を行うと想定よりも短い時間しか録画されていなかったり、録画エラーで動作停止したりする場合があります。
- バッテリーの性能、寿命について
- 本機に内蔵されているバッテリーは、リチウムイオン二次電池です。
- バッテリーには寿命があり、温度、使用回数、使用時間、時間の経過につれて、バ ッテリーの容量は少しずつ低下します。
- 常温(10~30°C)で使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますの で新しいバッテリーに交換が必要です。
 ご購入先または弊社カスタマーサービスまでバッテリーの交換(有料)をご依頼くだ さい。
- 低温時や高温時には充電できない場合があります。
 10~30℃の場所にしばらくおいてから充電してください。
 低温環境から暖かい場所へ移動する際は、結露にご注意ください。
- 日時設定などは電池が切れるとリセットされます。

- 本機を廃棄する際のお願い
- バッテリーのリサイクルにご協力をお願いします。
 ご使用の地域により製品を廃棄する際は、本機に内蔵されているリチウムイオン電池(バッテリー)を外して、リサイクルすることが可能です。その際はご使用の地域で定められた法令に従いリサイクルしてください。
 充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JRBCホームページ(http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html)を参照してください。
- microSD カードを廃棄および譲渡する際のお願い
 - 本機およびパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では microSD カード内のデータは完全に消去されません。
 物理的に破壊するか、市販のデータ消去ソフトを使用してのデータ消去をお勧めします。
 - microSD カード内データはお客様の責任において管理ください。
- AVC Visual Patent Portfolio License について
- 本製品は、AVC Visual Patent Portfolio License(以下、AVC Video)に基づきライセン スされており、個人的かつ非営利目的においてのみ使用することが認められています。
 - ・ 個人的かつ非営利的活動目的で記録された AVC Video を再生する場合
 - MPEG-LA, LLC よりライセンスを受けた提供者により提供された AVC Video を再生する場合
 - ・プロモーション、営利目的などで使用する場合には、米国法人 MPEG-LA,LLC に お問い合わせください。

あらかじめご了承いただきたいこと

- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。 最新版は下記 QBiC S サポートページでご確認いただけます。 http://www.elmogbic.com/gbics/
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。著作権法上、弊社に無断で使用できません。
- 万が一、本機の使用および故障、修理、そのほかの理由により生じた損害、逸失利益 または第三者からのいかなる請求についても、弊社では一切その責任を負いかねます ので、あらかじめご了承ください。
- 本書での記載について以下のように記載しています。
- microSD および microSDHC メモリカード \rightarrow 「microSD カード」
- バッテリーパック→「バッテリー」
- 無線 LAN アクセスポイント→「AP」
- 本書に記載の画面や図は実際のものと異なる場合があります。

■ 著作権について

個人で楽しむ場合などのほかは、画像および動画フォーマットファイルを権利者に無 断で複製することは著作権法や国際条約で固く禁じられています。また、これらのフ ァイルを有償・無償にかかわらず権利者に無断で、ネット上で記載したり、第三者に 配布したりすることも著作権法や国際条約で固く禁止されています。

万が一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

ご注意ください

- この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置が ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起 こすことがあります。
- カメラシステムを使用して撮影される人物やそのほかの映像で、個人を特定できるものは個人情報となります。
 その映像の開示、公開等の取り扱いは、システムを運用する方の責務となりますので、ご注意ください。
- 書籍、写真などは個人で楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で録画 できませんので、ご注意ください。
- 補修用性能部品について
 補修用性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。
 この部品の保有期間が修理可能の期間となります。

QBiC S の特長

面倒な配線や設置なしですぐに使えるセキュリティカメラ
 警戒スイッチを押すだけで24時間連続の監視録画を行うことができます。
 曜日、時間を指定したスケジュール録画も可能です。
 スタンドアロンで監視録画できる簡単操作のセキュリティカメラです。
 32GBのmicroSDカードに連続*7日間録画可能。(VGA、5fps、384kbps)
 連続上書き録画により連続で監視を続けることができます。
 *撮影時間はあくまでも目安です。

● 135°&185°歪みの少ない自然な映像 超広角レンズで幅広く周囲の状況を監視することができます。 QBiC専用レンズは超広角でありながら、歪みの少ない自然な映像を実現しています。

夜をとらえる高感度レンズ
 業務用監視カメラ並みの高感度で、夜間のフィールドをとらえます。
 最低被写体照度は 1.5 ルクス。月明かりのフィールドでも対象物を鮮明にとらえます。

● ワイヤレスでモニタリングが可能 QBiC プレイヤーをインストールすればワイヤレスで PC と接続して QBiC S に保 存された画像の確認、モニタリングが可能になります。



各部の名称

QBiCS 前面



QBiC S 背面





QBiC S X1(135°レンズ仕様)とQBiC S D1(185°レンズ仕様)のスイッチ、LEDは同じ仕様で す。

 1. 付属の AC アダプタ本体にコンセント 部を取り付けます。
 コンセント部を図の方向に合わせて、
 カチッと音がするまで差し込みます。



 本機の microUSB ポートの USB カバー を外し、付属の USB ケーブルの microUSB コネクタ(小さい方のコネク タ)を挿入します。



 本機の電源がオフになっていることを 確認し、USB ケーブルのコネクタを、 付属のAC アダプタの USB ポートに挿 入します。AC アダプタをコンセントに 接続すると充電を開始します。 充電中は「PWR」LED が赤点滅します。



 充電が完了すると「PWR」LED が消灯 します。

準備する

撮影を行う前に必要な準備について説明し ます。



お買い上げ時にバッテリーは挿入されてい ません。また、お買い上げ時はバッテリー が十分に充電されておりませんので、必ず 充電してからお使いください。



 本機底面にある2か所のロックツマミ を②、①の順に矢印の方向に動かし、 ロックを解除します。 バッテリースロットのカバーを矢印③ の方向にスライドさせて開きます。



バッテリーを挿入し、手順1.と逆の手順でカバーを閉じロックします。



 USB ケーブルを本機から抜き、本機底 面にある microUSB ポートに手順 4.で 外した USB カバーを取り付けます。



- バッテリースロットのカバーを開ける 際は最後までスライドさせてからカバ ーを開け、バッテリーを挿入してくだ さい。 スライドが不十分なまま無理にカバー を開けた場合、本機が破損する原因と なります。
- バッテリーは正しい向きに挿入し、オレンジ色の内部ロックがかかっていることを確認してください。
 誤った向きに無理に挿入した場合、本機が故障する原因となります。
- バッテリー挿入後、バッテリースロッ トのカバーは必ず奥まで押し込んで、 正しくロックをかけてください。 不十分な場合、防水性が損なわれ、本 機が故障する原因となります。
- 本機と PC を接続してマスストレージ を使う、あるいは QBiC メンテナンス ツールを使用している場合、充電は行 われません。

マスストレージおよび QBiC メンテナン スツールに関しては

→「マスストレージを利用する」

→「QBiC メンテナンスツールを使う」 を確認してください。 本機のオン/オフおよび充電の状態に よって「PWR」LEDの点灯状態が変わ ります。

詳しくは →「**LED 動作一覧」** を確認してください。

- 充電中に本機や USB ケーブルが熱く なることがありますが、故障ではあり ません。
- 7. 電源が入っている PC の USB ポートからも充電することができます。

 PC から充電する場合は AC アダプタでの充電よりも長い時間がかかります。
- 8. 1 ヶ月以上使用しなかった場合は使用 前にバッテリーの充電を行ってくださ い。

microSD カードと WiFi カードを 取り付ける



 microSD カードを WiFi カードの microSD カードスロットヘカチッと音 がするまで挿入します。 この際、WiFi カードのロックスイッチ が「LOCK」ではない側になっているこ とを確認してください。



 2. 硬貨など、先端が平面のものを使用し て本機背面にあるカバーのロックを解 除します。

①の部分に硬貨などを差し込み、②矢 印の方向に回して指標を「UNLOCK」 の位置に合わせると、③カバーが外れ ます。





 WiFi カードを本機の WiFi カードスロ ットにカチッと音がするまで挿入しま す。



4. 背面のカバーを戻して、ロックします。
 カバーを付け、①の部分に硬貨などを
 差し込み、②矢印の方向に回して指標

を「LOCK」の位置に合わせます。 カバーの周囲に浮き上がりが無く、正 しく取り付けられていることを確認し てください。不十分な場合、防水性が 損なわれ、本機が故障する原因となり ます。





- microSD カードは消耗品です。定期的 な交換をお勧めします。 付属の microSD カード以外のものをお 使いになる場合のご使用に関しては動 作の保証をいたしかねます。
- microSDカードおよびWiFiカードを挿 入する際は向きにご注意ください。正 しく挿入されていない場合、エラーが 発生するか、本機が故障する原因にな ります。
- WiFi カードをロックすると microSD カードに録画することができません。 ロックスイッチが「LOCK」ではない側 になっていることを確認してください。
- WiFi カードスロットには付属の WiFi カード以外のものを挿入しないでくだ さい。 取り出しが不可能となり、本機が故障 する原因となります。

- カバーロック部は強く閉めすぎると内 部のツメが破損するなど、故障につな がる恐れがあります。 指標が正しい位置になるよう確実に回 してください。
- WiFi カードは弊社のカスタマーサービスにて販売しております。
 詳しくはカスタマーサービスまでお問い合わせください。

外部電源を供給する

本機の内蔵バッテリーでは長時間の監視を 行うことができません。

連続監視を行う場合は付属の AC アダプタ を使い、microUSB 端子から給電してご使 用ください。バッテリーは停電など予期せ ぬトラブルの補助電源としてお使いください。



 本機の microUSB ポートの USB カバー を取り外します。



USB スロットに付属の USB パッキンシールを貼り付けます。



 本機と付属のACアダプタをUSBケー ブルで接続します。





 本機は USB カバーが正しく取り付け られた状態(USB ケーブル非使用時)で は防水仕様ですが、USB カバーが取り 外された状態(USB ケーブル使用時)で は本機単体で防水を保証するものでは ありません。

また、USB カバーが正しく取り付けら れた状態でも、屋外での長期間にわた る使用では、防水を保証するものでは ありません。

 本機は USB パッキンシールを貼り付 けることで防滴性能を確保しています が、防水性能を保証するものではあり ません。

雨が直接当たるような場所では屋外ハ ウジングをご使用ください。

屋外でご使用になる際の注意点

本機を屋外で使用する場合は市販の屋外ハ ウジングをご使用ください。 また、ご使用になる前に次の内容を必ず確

認してください。

 各部のカバー、スロット、ツマミがしっ かりと閉まっているか確認してください。



 USB ケーブルを接続して使用する場合 は micro USB ポートに USB パッキン シールが正しく取り付けてられている か確認してください。



- 本機の USB カバーが正しく取り付け られた状態でも、屋外での長期間にわ たる使用では、防水を保証するもので はありません。
- 2. 付属の AC アダプタは防水仕様ではあ りません。

- 屋外ハウジングを使用した場合においても、すべての状態において無破壊、 無故障、防水を保証するものではあり ません。
- 4. 屋外では設置場所によってハウジング 内部が高温または低温になる場合があ ります。
 必ず設置業者にご相談の上、冷却ファ ンやヒーターなどの適切な装置が付い た屋外ハウジングをご使用ください。

警戒動作を始める

本機は24時間連続で内部のmicroSDカー ドに録画を行う「警戒モード」と、各種録 画に必要な設定や microSD カード内に記 録された録画データを再生可能な「メンテ ナンスモード」の2種類のモードを備えて います。

電源を入れる/電源を切る

電源を入れる

「POWER」スイッチを1秒長押しすると 本機の電源がオンになります。



電源をオンにした際に「PWR」LED の点 灯状態が変わります。 詳しくは、

「LED 動作一覧」 を確認してください。

電源を切る

「POWER」スイッチを2秒長押しすると 本機の電源がオフになります。

警戒モード中に「POWER」スイッチによって電源をオフにした場合は、自動的に「メンテナンスモード」に移行して電源がオフになります。



- 本機は AC アダプタからの常時給電に よって、24 時間の連続監視動作を行う ことができます。
 万が一、突然の停電などで給電が途絶 えた場合でも、内蔵のバッテリーによ り最大で2時間の警戒録画を行うこと が可能です。
- お買い上げ後、最初に起動する場合は メンテナンスモードで起動します。
- 本機のオン/オフおよび充電の状態に よって「PWR」LEDの点灯状態が変わ ります。

詳しくは →「LED 動作一覧」 を確認してください。

- バッテリーに十分な残量がない場合、 「POWER」スイッチを長押ししても電 源は入りません。 付属の AC アダプタから給電するか、 あらかじめバッテリーを充電してくだ さい。
- 5. 本機は次の条件を満たしている場合に 電源が入ります。
 - 付属のWiFiカード、または弊社指 定(正規品)のWiFiカードが本機に 挿入されている
 - ①の WiFi カードの中に microSD カードが挿入されている

これらの条件を満たしていない場合、 電源をオンにしようとするとエラーに なります。 このような状態になった場合は、WiFi カードと microSD カードを確認し、再 度電源を入れ直してください。

メンテナンスモードの確認をする

本機をお買い上げ後、最初に電源を入れる とメンテナンスモードで起動します。 メンテナンスモードの場合、「MNT」LED が赤色に点灯します。メンテナンスモード は警戒録画を行いません。

また「WiFi」LED は WiFi 設定に従って点 灯します。



警戒を始める

メンテナンスモード中に「REC」スイッチ を短押しすると警戒モードに移行し、警戒 録画を開始します。



警戒モードに移行すると「MNT」LED と
 「WiFi」LED が消灯して「REC」LED が緑
 色に点灯します。「WiFi」LED は、WiFi 設
 定に関係なく消灯します。

ただし、本機が録画状態ではない場合、 「REC」LED は点灯しません。



警戒モードに移行して警戒録画を開始する と、内部の microSD に録画データを自動的 に保存します。

録画データは独自形式で保存されます。再 生は QBiC プレイヤーで行ってください。 また、microSD に保存する録画データの録 画品質は QBiC メンテナンスツールで設定 することができます。

詳しくは

→「QBiC メンテナンスツールを使う」 を確認してください。



- 録画データは映像のみ記録されます。
 音声は記録されませんのでご注意ください。
- お買い上げ時の録画設定は VGA・5fps・ 384kbps に設定されています。
 32GB の microSD カードをご使用の場 合、約7日間分の録画データを保存す ることができます。
- 警戒動作を始めるときは、必ず QBiC メンテナンスツールを使って microSD カードをフォーマットしてください。 microSD カードに不要なデータが混在 していると想定よりも録画時間が短く なったり、録画エラーによってカメラ の動作が停止したりする場合がありま す。 フォーマット方法は

→「QBiC メンテナンスツールを使う」 を確認してください。

 microSD カードの空き容量がなくなる と、古い録画データから順次上書きさ れます。
 録画データを保存したい場合は、マス ストレージ接続で録画データを PC に 保存することができます。

録画データの保存に関しては →「マスストレージを利用する」 を確認してください。

microSD カードは消耗品です。
 microSD カードが故障して録画できない場合は、本機のすべての LED が点滅してエラー音が鳴ります。このような

場合は microSD カードを交換してくだ さい。

警戒をやめる

警戒モード中に「REC」スイッチを2秒長 押しすると警戒録画を中止してメンテナン スモードに移行します。



- メンテナンスモード中は警戒録画を行いません。警戒録画を行う場合は「MNT」LEDが消灯し、警戒モードに移行していることを十分に確認してください。
- キーロックがオンになっている場合は 「REC」スイッチを2秒長押ししても 「KEYLOCK」LEDが2回点滅するの みで警戒録画の中止はできません。 メンテナンスモードに移行する場合は、 本 機 の「 REC 」 ス イ ッ チ と 「SCHEDULE」スイッチを同時に 2 秒長押ししてキーロックをオフにして ください。



キーロックの設定方法は

→「QBiC メンテナンスツールを使う」 を確認してください。

スケジュール録画をオンにする

スケジュール録画をオンにすることで、連 続録画ではなく曜日/時間を指定して録画 を行うことができます。 スケジュール録画のオン/オフは警戒モー ド時に行うことができます。

スケジュールの設定方法は

→「QBiC メンテナンスツールを使う」 を確認してください。



 「MNT」LED が消灯し、警戒モードに なっていることを確認してください。
 「MNT」LED が点灯している場合は 「REC」スイッチを短押しして警戒モ ードにしてください。



 SCHEDULE」スイッチを2秒長押し してください。

「SCHEDULE」LED が点灯し、スケジ ュール録画がオンになります。

「REC」LED はスケジュール録画期間 外の場合、消灯し録画待機します。録画 期間内の場合は点灯したまま警戒録画 を継続します。



 スケジュール録画をオフにする場合は、 警戒モード時に「SCHEDULE」スイッ チを2秒長押しします。「SCHEDULE」 LED が消灯し、連続警戒録画を行いま す。 スケジュール録画オンのままメンテナ ンスモードに移行した場合や、電源をオ フにした場合は、次に警戒モードに移行 した際もスケジュール録画オンの状態

で警戒モードが開始されます。

撮影可能時間の目安

撮影可能な時間は解像度、フレームレート、 ビットレートの組み合わせによって異なり ます。これらの設定は QBiC メンテナンス ツールの「本体録画設定」で変更すること ができます。

また、撮影可能時間の目安は「映像配信設 定」もしくは「QBiC 日数カリキュレータ 一」で確認することができます。

詳しくは

→「QBiC メンテナンスツールを使う」 →「QBiC 日数カリキュレーターを使う」 を確認してください。



設定を確認・変更する

本機を使用して設定の確認や変更を行うこ とができます。

操作を行う際は必ずメンテナンスモードで 行ってください。警戒モードでは操作でき ません。

本機で確認および変更が可能な設定は次の とおりです。

- ・ WiFi モード確認
- WiFiの設定変更
 WiFi オン/オフ
 通信モード切り替え
- ・ LED ライト オン/オフ

WiFi モードを確認する

現在設定中の WiFi モードを確認します。



 本機側面の「WiFi」LED の点灯状態を 確認します。



 「WiFi」LED の点灯/点滅および色で 状態を確認します。

WiFi LED	WiFi オン/オフ	通信モード
緑色*	オン	インフラストラクチャー
青色*	オン	アドホック
消灯	オフ	

*通信中、LED は点灯します。 通信していない場合は点滅します。



これらの設定は QBiC メンテナンスツール からも行うことができます。

QBiC メンテナンスツールを使っての確認 および変更方法に関しては

→「QBiC メンテナンスツールを使う」 を確認してください。

インフラストラクチャー通信とは?

インフラストラクチャー通信とは、AP となる機器を中継点として経由し、同一のネットワーク内で機器と機器が直接通信せずに接続する通信方式を指します。

「アドホック通信」とは?

アドホック通信とは、機器と機器が1対1で直 接接続する通信方式を指します。

WiFi の設定を変更する

本機のスイッチを操作して WiFi モードの オン/オフおよびインフラストラクチャー /アドホックの切り替えを行います。

WiFi モードのオン/オフを切り替え る

WiFi モードのオン/オフを切り替えます。 初期設定はオンです。

🗡 <手順>

本機側面の「WiFi」スイッチを短押ししま す。



ピピッとビープ音が鳴り、WiFiのオン/オ フが切り替わります。 通信モードを切り替える

インフラストラクチャーとアドホックの切り替えを行います。 初期設定はアドホックです。



本機側面にある「WiFi」スイッチを2秒長 押しします。



ピピピッとビープ音が鳴りましたら指を離 してください。通信モードが切り替わりま す。

なお、お買い上げ時は本機にインフラスト ラクチャーに関する情報は設定されていな いため、本操作を行っても変更は実行され ません。

インフラストラクチャーで接続を行う場合 は QBiC メンテナンスツールを使用して設 定を行ってください。

WiFi の設定は →「QBiC メンテナンスツールを使う」 を確認してください。



- 設定を行う際は、スイッチを押す時間 にご注意ください。
 所定の時間より長い、あるいは短い場 合は別の設定が変更されてしまいます。
- WiFi オフからオフに切り替えた際、通 信モードはWiFiをオフにする前の設定 を反映します。

LED ライトのオン/オフを 切り替える

本機前面2ヶ所に、暗所で撮影する際に便 利な LED ライトを搭載しています。 初期設定はオフです。5分で自動消灯しま す。



1. 本機側面の「LIGHT」スイッチを短押 しすると LED が点灯します。



2. 再度「LIGHT」スイッチを短押しする と LED が消灯します。

時刻設定について

本機は内部に時計機能を搭載しています。 工場出荷時、日付や時刻設定は初期状態で す(2014/1/1)。

本機の時刻は次の2種類の方法で設定する ことができます。

- GPS 情報を用いて本機の時刻を合わせる

 (GPS アシスト設定)
 *GPS 情報を捕捉可能な場所に本機を配置する必要があります
- QBiC メンテナンスツールを使用して 設定する
- 詳しくは
- →「QBiC メンテナンスツールを使う」 →「GPS 機能について」 を確認してください。

工場出荷時状態に戻す

本機を工場出荷時状態の設定に戻します。



- 1. 本機の電源をオフにします。
- 次の3つのスイッチを同時に5秒間長 押しします。
 - ・ 「POWER」スイッチ
 - ・ 「SCHEDULE」スイッチ
 - ・「LIGHT」スイッチ



 「PWR」LED、「MNT」LED が点灯し、 動作を実行します。
 完了するとビープ音が鳴り、本機がエ 場出荷時状態に戻った状態で再起動し ます。

<u>この動作を行うと、時刻データをはじめと</u> するすべての設定が工場出荷時の状態に 戻りますのでご注意ください。

なお、microSD カード内のデータはそのま ま保持されます。

マスストレージを利用する

本機はマスストレージに対応しており、 microSDカードを外部記憶装置として認識 させることができます。 本機と PC をマスストレージで接続すると、 microSDカードを取り出すことなくカード 内に保存されたデータを取り込むことがで きます。



1. 本機の電源がオフの状態で PC と本機 を付属の USB ケーブルで接続します。



POWER」スイッチを 5 秒長押しします。

ピーッピピッとビープ音が鳴り、本機 内部の microSD カードがリムーバブル ディスクとして認識されます。



ファイル名およびフォルダ構成に ついて

本機で撮影された動画等のファイルは microSDカード内に自動的に生成されたフ ォルダに保存されます。

ルートフォルダには、次のフォルダが作成 されます。

/QBIC

└ hh

⊢mmss.264 .

フォルダ名のアルファベット部には YYYY:年(西暦、4桁)、MM:月、DD:日、 hh:時(24時、2桁)が入り、ファイル名の アルファベット部には mm:分(2桁), ss: 秒(2桁)が入ります。

QBiC メンテナンスツールを使

う

QBiC メンテナンスツールを使うと細かな 設定が可能になり、より快適に本機をお使 いいただけます。 QBiC メンテナンスツールで操作可能な動

作および設定は次のとおりです。

- ・ WiFi の設定
- ・ 録画の設定
- 曜日、時間を指定したスケジュール撮影の設定
- ・ 本機映像のライブビュー表示

・ 警戒時キーロックの設定

など

また、QBiC メンテナンスツールのインス トール時に「QBiC プレイヤー」、「QBiC 日 数カリキュレーター」が併せてインストー ルされます。

QBiC プレイヤーを使用するとライブを見 る、録画したファイルの再生・録画ファイ ルのダウンロードができます。QBiC 日数 カリキュレーターは録画可能時間の目安を 計算することができます。

詳しくは

→「QBiC 日数カリキュレーターを使う」 を確認してください。

ツールをダウンロードする

QBiC メンテナンスツールは QBiC S サポ ートページ(http://www.elmoqbic.com/qbic s/)からダウンロードしてください。

インストールする

ツールをダウンロード後、次の手順に従っ て QBiC メンテナンスツールをインストー ルしてください。

- ご使用のPCに管理者権限でログインし、 ダウンロードした QBiCSetup.msi を実 行します。
- 画面の指示に従ってインストールを行ってください。
 ご使用の環境によってハードウェアと

の互換性やデジタル署名についての警告メッセージが表示される場合があります。

「"ELMO COMPANY, LIMITED"からの ソフトウェアを常に信頼する」にチェッ クを入れ、「インストールボタン」をク リックします。



 インストールが完了すると、QBiC メン テナンスツールのアイコンがスタート メニューに登録されます。



- ご使用の PC によって再起動を促すメ ッセージが表示される場合があります。
 メッセージが表示された場合は、「は い」を選択して PC を再起動させてく ださい。
- QBiC メンテナンスツールをスタート メニューから起動する場合は、[スター ト]・[すべてのプログラム]・ [ELMO]・[QBiC メンテナンスツー ル]・[QBiC メンテナンスツール]の 順にクリックします。

|アンインストールする

ご使用の PC から QBiC メンテナンスツー ルを削除する場合には、OS のアンインス トール機能をご利用ください。



- 1. 付属の USB ケーブルで本機と PC を接続します。
- QBiC メンテナンスツールを起動します。



 本機の電源をオンにします。
 (既に本機の電源がオンになっている 場合はそのままで構いません。)

モードを切り替える

[モード切替](ツールの右上)をクリックす ると、メンテナンスモード/警戒モードを切 り替えることができます。



警戒モード中は、カメラ状態の確認とアッ プデートのみが操作可能となります。

カメラ状態を確認する

本機の状態は、「カメラ」から確認できます。



1. 電池残量

本機の電池の残量が表示されます。 電池の残量が50%以上の場合は緑色の 文字、10~49%の場合は黄色の文字、 9%以下の場合は赤色の文字で表示さ れます。

WiFi 状態
 本機の WiFi の接続状態が表示されます。

<u>アドホックの場合:</u>

本機がアドホックに設定されているが、 WiFi 機器と接続していない場合、「接 続待機中」と表示されます。 WiFi 機器と接続している場合は、「接 続中」と表示されます。

インフラストラクチャーの場合:

本機がインフラストラクチャーに設定 され、WiFi 機器と通信中の場合は「接 続中」と表示されます。

WiFi 機器と通信していない場合は「接 続していません」と表示されます。 <u>WiFi オフ の場合:</u> 本機の WiFi 設定がオフの場合、「接続 していません」と表示されます。

- IP アドレス
 現在使用している IP アドレスが表示
 されます。
- 受信強度
 WiFi 設定がインフラストラクチャーの場合、通信中の AP との電波強度が表示されます。
- SD カード SD カードの使用状況が円グラフで表 示されます。 また、グラフの右に SD カードの容量 が表示されます。
- シリアル番号
 本機のシリアル番号が表示されます。
- 7. MAC アドレス 本機(SD カード)の MAC アドレスが 表示されます。
- ファームウェアバージョン
 本機のファームウェアバージョンが 表示されます。
- モード
 本機のモードが表示されます。

ネットワークの設定をする WiFi 設定の変更

インフラストラクチャー/アドホック/ WiFi オフの 3 種類を選択することができ ます。

 インフラストラクチャー 本機をインフラストラクチャーで接続 します。

 インフラストラクチャー」を選択す ると利用可能な AP を検索し、一覧を 表示します。
 各 AP の右側には暗号化方式/受信強 度が表示され、接続中の AP は最上段 に表示されます。



AP 一覧表示で未接続の AP を選択する と暗号化キー入力ページが表示されま す。暗号化キーのフォーマットは、 ASCIIと 16 進数を選択することができ ます。

暗号化キーを入力し、適用すると AP に接続します。

なお、「暗号化キーを表示する」にチェ ックを入れると入力した文字列を表示 させることができます。





接続中の AP の をクリックすると IP アドレスなどの設定ページが表示されます。



「DHCP」をオンにすると AP などの DHCP サーバーから自動的にアドレス を取得します。

オフにすると、IP アドレス、サブネッ トマスク、デフォルトゲートウェイを 手動で設定することができます。 デフォルトゲートウェイは、ルーター

の IP アドレスまたは使用する環境に合 わせたアドレスを設定してください。

<u>[AP 手動設定]</u>

AP を手動で設定します。

接続するAPのSSIDと暗号化キーを入 カします。

なお、「暗号化キーを表示する」にチェ ックを入れると入力した文字列を表示 させることができます。



接続されると AP 一覧表示に、設定した AP が表示されます。

2. アドホック

本機をアドホックで接続します。 「アドホック」を選択すると、本機の 「アドホック接続用 SSID」と「アド ホック接続用暗号キー」が表示されま す。



アドホック接続で本機が使用するIPア ドレスとサブネットマスクを設定しま す。

 WiFi オフ
 WiFi オフに設定すると本機の WiFi が オフになり、WiFi 接続を行いません。



アドバンス設定の変更

RTSP ポートと HTTP ポートの設定を行い ます。



- RTSP ポート ライブ制御用ポートを設定します。 特定のポートを設定したい場合は、チ ェックを入れて、ポート番号を設定し てください。
- HTTP ポート CGI 通信用ポートを設定します。 特定のポートを設定したい場合は、チ ェックを入れて、ポート番号を設定し てください。

QBiC S ユーザーズ・マニュアル

肿像配	信の認	完を	する
以涿胆		(JE (Z.	້າ້

映像共通設定

映像 180°回転・明るさ・低照度時グレー スケール映像を設定します。



1. キャプチャ

「キャプチャ」をクリックすると現在 表示されている本機の映像を JPEG 画 像で保存することができます。

- 映像を 180°回転する
 映像の向きを 180°回転することができます。
- 3. 明るさ設定
 映像の明るさを5段階で調整できます。
- 4. 低照度時グレースケース映像 低照度の時にカラー映像をグレースケ ール映像に変更することができます。 グレースケール映像にすることでファ イルが小さくなり、一度に保存できる 録画時間を延ばすことができます。

本体録画設定

本体録画を設定します。撮影条件を設定し て撮影可能な目安の時間の確認をします。 はマウスカーソルを重ねると、ポップ アップメッセージが表示されます。



- 録画解像度
 録画するファイルの解像度を設定します。
 - HD 1080 (1920x1080)
 - HD 720 (1280x720)
 - FWVGA+ (864x480)
 - VGA (640x480)

解像度が高いほど画質は良くなります が、撮影可能時間は短くなります。 工場出荷時は VGA に設定されていま す。

 フレームレート 録画するファイルのフレームレートを 設定します。
 1,3,5,10,15,30fpsの6段階で設定す ることができます。録画解像度が HD 1080の場合は、15,30fpsは設定する

ことができません。 数値が大きいほど映像が滑らかになり ますが、撮影可能時間は短くなります。

工場出荷時は5fpsに設定されています。

- SD 容量
 本機で使用されている SD カードの合 計容量が表示されます。
- サンプル動画 撮影条件に近いサンプル動画を表示し ます。※Windows Vista ではサンプル 動画を表示できません。
- ビットレート(簡易設定/カスタマイズ) 録画するファイルのビットレートの目 標値を設定します。
 簡易設定では、エコノミー/ノーマル/ ファインの3種類から設定できます。 カスタマイズでは、より細かい設定を することができます。
 数値が大きいほど画質は良くなります が、撮影可能時間は短くなります。
- 6. 録画時間

録画解像度・フレームレート・SD カー ド容量・ビットレートの情報を元に、 撮影可能な目安の時間が表示されます。

各設定を変更すると、録画時間が再計 算されます。



- 録画時間は目安です。撮影条件によっては表示される録画時間と異なる場合があります。
- 夜間撮影など、暗い状況で撮影した場合、表示される録画時間よりも録画時間が短くなる場合があります。

ライブ設定

WiFi 経由で配信するライブ映像の設定を 行います。 🕜 はマウスカーソルを重ねる と、ポップアップメッセージが表示されま す。



- ライブビュー解像度
 ライブビュー映像の解像度を設定します。
 - WVGA (800x480)
 - FWQVGA (432x240)

数値が大きいほど画質は良くなります が、配信に負荷がかかります。 工場出荷時は WVGA に設定されてい ます。

 フレームレート設定 ライブビュー映像のフレームレートの 目標値を設定します。
 1, 3, 5, 10, 15, 30fps の 6 段階で設定す ることができます。画質が 5 の場合は、 15, 30fps は設定することができません。

数値が大きいほど映像が滑らかになり ますが、配信に負荷がかかります。 工場出荷時は 30fps に設定されていま す。
 3. 画質設定 ライブビュー映像の画質の目標値を設 定します。
 1 から 5 の間で設定することができま す。

数値が大きいほど画質は良くなります。 工場出荷時は3に設定されています。



フレームレートおよび画質は、ネット ワーク環境により目標とする設定値を 下回る場合があります。

プライバシーマスク設定

プライバシーマスクの設定を行います。



 プライバシーマスクを使用する プライバシーマスクを使用する場合は、 チェックを加えて、サイズおよび位置 を設定します。マスクする部分が赤い 枠で表示されます。



基本設定をする 時刻設定

日付と時刻に関する設定を行います。



- タイムゾーン プルダウンメニューからカメラを設置 する地域を選択します。
- 日付時刻
 上下ボタンで現在の日付と時刻を設定
 します。

「PC の時刻情報を取得する」をクリッ クすると PC から時刻情報を取得して 本機の時刻を合わせます。

「GPS 情報から時刻を自動的に合わせる」にチェックを入れると、本機の電源をオンにしたとき、最初に受信したGPS 情報を利用して時刻を合わせます。

 録画タイムスタンプ表示
 警戒録画ファイルの左上に日付と時刻 を記録します。
 工場出荷時はオフに設定されています。

GPS 設定

GPS の動作を設定します。



- GPS 機能を有効にする
 「GPS 機能を有効にする」にチェック
 を入れると GPS 機能を使用します。
- GPS ログ
 GPS のログを SD カードに保存するか/
 保存しないかを設定します。
- GPS ログのフォーマット
 記録する GPS ログのフォーマットを 選択します。

GPS に関する詳細は →「GPS 機能について」 を確認してください。



WiFi 設定

WiFi の動作を設定します。



 WiFi 対応国 プルダウンメニューからお住まいの地 域を選択します。

インフラストラクチャーで接続してい る場合、「自動」を選択することができ ます。

WiFi 機能を自動的オフする
 「WiFi 機能を自動的にオフする」にチェ
 ックを入れると、本機が WiFi 機器と接
 続していない時間が設定時間経過した
 ときに WiFi を自動でオフにします。
 時間は1分から10分までの間で選択可
 能です。



WiFi は対応されていない地域で使用する ことができません。各国の電波法に違反す る恐れがあります。 パスワード設定

 パスワードを設定してセキュリティを向上 させることができます。WiFi 経由で本機に アクセスするとき、録画ファイルを再生さ せるときに、パスワードが必要になります。
 はマウスカーソルを重ねると、ポップ アップメッセージが表示されます。



「パスワード認証を有効にする」にチェッ クを入れると、パスワードを設定すること ができます。

文字数は16文字まで入力が可能です。

工場出荷時のパスワードは"root"に設定されています。



パスワードで使用可能な文字は次のとおり です。

> A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! " # \$ % & '() * + , - ./ : ; <=> ? @ [¥]^_`{|}~

その他アドホックの設定

本機のカメラ名の変更や LED の設定など を行います。



- カメラ名 ネットワーク上に表示される本機の名 前を設定します。 文字数は8文字まで入力が可能です。
- 2. 警戒時にキーロックを有効にする
 「警戒時キーロックを有効にする」に
 チェックを入れると、警戒モードで動
 作中にスイッチ操作を無効にします。
- 警戒時に LED を消灯する
 「警戒時 LED を消灯する」にチェック
 を入れると、警戒モードに移行した際
 に全ての LED を消灯します。
 ハウジングのドームへの LED の映り込
 みを防ぐことや、警戒モードで動作し
 ていることを隠すことができます。
- 4. 起動時のモード
 本機の電源をオンにしたときに警戒モ
 ードで起動するかメンテナンスモード
 で起動するかを設定します。

電池残量アラーム
 「電池残量が低下したときにアラーム
 を鳴らす」にチェックを入れると、電
 池の残量が少なくなったときにアラー
 ム音で警告します。



カメラ名で使用可能な文字は次のとおりで す。

> A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ~ -.

初期化設定

データ消去や設定値の初期化を行います。



1. データ消去

SD カードのすべてのデータを消去し ます。

フォーマットする場合は「SD カードフ ォーマット」をクリックします。

💽 QBICXンテナン:	スツール 🗾 💌
SDカードのすべての:	データが削除されます
	+ 10 1/2 11
	47721

ダイアログが表示され、「OK」をクリ ックするとフォーマットを実行します。

2. 設定値の初期化

すべての設定を工場出荷の状態に戻し ます。

設定を初期化する場合は、「工場出荷時 設定に戻す」をクリックします。

💽 QBICメンテナンスツール
すべての設定データは初期化され、工場出荷設定に戻されます。
OK キャンセル

ダイアログが表示され、「OK」をクリック すると初期化を実行します。

ビープ音が鳴り、本機が再起動します。このとき QBiC メンテナンスツールは一度未接続状態になりますが、自動的に再接続します。

スケジュール録画を設定する

警戒録画はスケジュール設定をすることで 特定の曜日、特定の時間のみ録画を行うこ とができます。



QBiC S ユーザーズ・マニュアル

[スケジュール録画を有効にする] スケジュール録画を行う場合は「スケジュ ール録画を有効にする」にチェックを入れ て設定を行います。

[録画曜日/毎日録画の設定]

スケジュール録画を行う曜日にチェックを 入れます。 毎日同じ時刻にスケジュール録画を行う場 合は毎日にチェックを入れます。

<u>[時刻設定]</u>

曜日/毎日にチェックを入れると右側の目 盛り上にバーが表示されます。 バーの開始位置と終了位置を移動させ、開 始時刻と終了時刻を設定します。バーの中 間をクリックしてドラッグすることで、曜

日を、またいだ設定ができます。



- スケジュール録画は各曜日と毎日の合 計8種類を設定することができます。
- 開始時刻と終了時刻が同じ場合は 24
 時間録画となります。
- 一つのスケジュール設定の録画終了時 刻が過ぎた場合でも、別のスケジュー ル録画の録画期間内である場合、録画 は終了しません。

アップデートを行う

ツールおよび本機のバージョンアップを行います。



<u>[ライセンス表示]</u>

QBiC メンテナンスツールおよび本機のラ イセンスに関する注意事項を表示します。 「ライセンスを表示する」をクリックする と、ご使用のウェブブラウザが起動し、ブ ラウザ上にライセンスが表示されます。

[メンテナンスツールバージョン]

QBiC メンテナンスツールのバージョンを 表示します。

[メンテナンスツールのバージョンアップ] QBiC メンテナンスツールのバージョンア ップを行います。

新しいバージョンがある場合はダウンロー ドを行い、バージョンアップを開始します。 再起動を促すダイアログが表示された場合 は PC を再起動してください。

[ファームウェアバージョン]

本機のファームウェアバージョンを表示し ます。 [QBiC のバージョンアップを行う] 本機のファームウェアのバージョンアップ を行います。

新しいバージョンがある場合は、バージョ ンアップの実行を問い合わせるダイアログ が表示されます。

「はい」をクリックすると、バージョンア ップを開始します。 バージョンアップが終了すると、本機の電 源が自動でオフになります。

なお、microSD カードに十分な空き容量が ない場合、アップデートが正常に実行され ません。十分な空き容量があることを確認 してから実行してください。

[最新ソフトウェア更新通知]

「最新のソフトウェアがある場合は通知す る」にチェックを入れると、QBiC メンテ ナンスツール、もしくは本機のファームウ ェアの新しいバージョンが用意されると、 QBiC メンテナンスツールを起動したとき に更新通知を表示します。



ライセンスの表示、本機および QBiC メンテナンスツールのアップデート、 更新の通知にはご使用の PC がインタ ーネットに接続されている必要があり ます。

バージョンアップ中は、QBiC S および PC の電源は切らないでください。

QBiC プレイヤーを使う

「QBiC プレイヤー」を使ってライブビュ 一映像を表示したり、本機で撮影された録 画ファイルを再生したりすることができま す。

QBiC プレイヤーのインストール方法は →「QBiC メンテナンスツールを使う」 を確認してください。

QBiC プレイヤーを操作する

QBiC プレイヤーを使ってライブビューの 開始や microSD カードに保存された録画 ファイルの再生を行います。

QBiC プレイヤーをスタートメニューから 起動する場合は、[スタート] ・ [すべての プログラム] ・ [ELMO] ・ [QBiC メンテ ナンスツール] ・ [QBiC プレイヤー] の 順にクリックします。

<u>[再生ファイルリスト]</u>

再生ファイルリストでは連続録画モードで 録画したファイルを日付・時刻ごとに表示 し、各操作を行います。

WiFi で接続した本機のライブビューの開始やモードの変更をすることができます。



1. カメラ検索 回

WiFi で接続している本機を検索します。

ウィンドウの左側のエリアで検索され た本機を選択すると右側のカメラ情報 エリアに現在のモードが表示されます。 カメラ情報エリアには選択されたカメ ラの IP アドレス、カメラ名、カメラ時 刻が表示されます。

[モードを変更する]

「警戒モードに変更」をクリックする と警戒モードに、「メンテナンスモード に変更」をクリックするとメンテナン スモードに切り替わります。

[ライブ開始]

「ライブ開始」をクリックすると再生 ウィンドウにライブ映像が表示されま す。

メンテナンスモード時に本機の名前の 左側の をクリックすると、録画した 日付および時刻が表示され、時刻を選 択するとその時刻から録画された録画 ファイルが右側のエリアに表示されま す。

録画ファイルをダブルクリックすると 再生ウィンドウで再生されます。



録画ファイルの表示はメンテナンスモ ード時のみ表示/再生ができます。 警戒モード時は表示/再生ができませ んので、メンテナンスモードに移行し て操作を行ってください。

- ファイルの追加
 PC 等に保存されている録画ファイル をリストに追加します。
- フォルダの追加
 PC 等に保存されている録画ファイル をフォルダ単位でリストに追加します。
- 4. 手動カメラ検索 🎉

IP アドレス・HTTP ポートを指定して QBiC S を検索します。工場出荷時の HTTP ポートは 80 に設定されています。

🗟 QBiCプレイ	(p- 💌
QBIC SØIP7K	レスを指定してください。
₽アドレス	
ポート	80
ОК	キャンセル

手動で登録したカメラは次回起動時に リストに追加されています。

5. カメラ/ファイルの削除 🔟

選択したカメラ/ファイルをリストから 削除します。ファイルそのものは削除 されません。 リストのソート
 撮影時刻順にソートします。
 クリックするごとに昇順/降順に切り 替わります。

7. 設定 🏷

設定ページが表示されます。 RTP ポートはライブデータ受信ポート を設定します。

	設定	J
「■RTPポートを手動で設定す	53	
RTPポート	1080 - 1083	
	OK キャンセル	
_	11.	

8. ファイルの再生

再生したい録画ファイルをダブルクリ ックすると再生ウィンドウで再生され ます。

[再生ウィンドウ(ファイル再生)]

録画したファイルの再生や画像のキャプチ ャなどを行います。



1. 再生 🎽 / 停止 🛄

選択した録画ファイルを再生します。 再生が開始されるとボタンが変わり、 再生中に します。

2. 頭出し/前のファイル ᄣ

現在のファイルの先頭へ移動します。 すでに先頭に移動している場合は前の ファイルに切り替えます。

3. 次のファイル 🔟

次のファイルに切り替えます。

- 倍速 ▶
 倍速再生をします。
 クリックするごとに 1, 2, 4, 8, 16 倍速
 に変わります。
- 繰り返し
 繰り返し再生をします。
 クリックするごとに1ファイル繰り返し
 レ/リスト繰り返し/繰り返しなしに 変わります。

- キャプチャ
 現在表示されている画面をキャプチャ
 し、PCの任意のフォルダに保存します。
- 7. リストウィンドウの表示/非表示 リストウィンドウの表示/非表示を切り替えます。
- 8. ダウンロード保存 💾

現在再生されているファイルを PC の任意 のフォルダに保存します。ダウンロード中 はキャンセル以外の操作はできません。ダ ウンロード保存できるのは、WiFi 経由で再 生しているときのみとなります。

[再生ウィンドウ(ライブビュー)]

再生ファイルリストで「ライブ開始」をク リックするとファイル再生ウィンドウのア イコンがライブビュー用のアイコンに切り 替わり、ライブビューが開始されます。



- ミュート
 「 ×
 「 本
 「 本
 「 本
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 「 、
 」
 」
 」
 」
 」
 」
 」
 」
 」
 」
 」
 」
 」
 」
 」
- 2. 音量スライダー
 音量を調節します。スライダーを右へ 動かすと音量が大きくなり、左へ動か すと小さくなります。

- キャプチャ
 現在表示されている画面をキャプチャ
 し、保存先を指定して保存します。
- 4. 停止 Ⅲ /再開 ▶
 ライブビュー中にⅢをクリックすると、
 ライブビューを停止します。▶
 かクするとライブビューを再開します。
- リストウィンドウの表示/非表示 リストウィンドウの表示/非表示を切り替えます。



- QBiC プレイヤーを使って、警戒モー ドからメンテナンスモードにモードを 変更した場合、QBiC プレイヤーを閉 じるときに自動的に警戒モードに戻し ます。
- microSD カードが消耗して、書き込み エラーが起きた時など、エラーを表示 します。microSD カードを交換してく ださい。





現在の設定で録画できる時間の目安を求めることができます。

QBiC 日数カリキュレーターをスタートメ ニューから起動する場合は、[スタート]・ [すべてのプログラム]・[ELMO]・ [QBiC メンテナンスツール]・[QBiC 日 数カリキュレーター]の順にクリックしま す。



1. 録画解像度

録画するファイルの解像度を設定しま す。

- HD 1080 (1920x1080)
- HD 720 (1280x720)
- FWVGA+ (864x480)
- VGA (640x480)

解像度が高いほど画質は良くなります が、撮影可能時間は短くなります。

- フレームレート 録画するファイルのフレームレートを 設定します。
 1,3,5,10,15,30fpsの6段階で設定す ることができます。録画解像度が HD 1080の場合は、15,30fpsは設定する ことができません。
 数値が大きいほど映像が滑らかになり ますが、撮影可能時間は短くなります。
- SD カード容量
 SD カード容量を設定します。
 4, 8, 16, 32GB に設定することができます。
- ビットレート(簡易設定/カスタマイズ) 録画するファイルのビットレートを設 定します。
 簡易設定では、エコノミー/ノーマル/ ファインの3種類から設定できます。
 カスタマイズでは、より細かい設定を することができます。
 数値が大きいほど画質は良くなります が、撮影可能時間は短くなります。

各設定を変更すると、撮影可能時間の目安 が再計算されます。



- QBiC 日数カリキュレーターで計算される録画日数および録画時間はあくまでも目安です。撮影条件によって増減します。
- 夜間撮影など、暗い状況で撮影した場合の撮影時間は短くなります。

GPS 機能について

本機は衛星を使用して現在時刻や位置を特 定する、GPS(Global Positioning System) 機能を搭載しています。

本機で取得した GPS 情報を利用し、位置 や時刻などの情報をログファイルとして記 録することや、本機の時計の時刻合わせを 行うことができます。

GPS ログファイルは本機内の microSD カ ードに保存されます。



GPS 情報取得について

工場出荷時、GPS 機能はオフに設定されています。
 GPS 機能をオンにする場合は QBiC メンテナンスツールを用いて設定を行ってください。

詳しくは →「QBiC メンテナンスツールを使う」 を確認してください。

2. 本機は電源がオンになると同時に GPS 情報取得のための処理を開始し ます。

- GPS ログは警戒モード時のみ記録を 行います。
 電源オフ時やメンテナンスモード時に は記録を行いません。
- ログファイルは GPS 情報が取得できた場合、5 秒ごとにファイルに記録します。
 取得できない場合、未測位データは記録されません。

GPS ログファイルについて

GPS 情報を利用し、位置や時刻などの情報 をログファイルに記録します。

工場出荷時、GPS ログ記録はオフに設定されています。

GPS ログ記録をオンにする場合は QBiC メ ンテナンスツールを用いて設定を行ってく ださい。

詳しくは

→「QBiC メンテナンスツールを使う」 を確認してください。

GPS ログ記録がオンに設定され、最初に GPS 情報を取得した際に microSD カード のルートフォルダに次のフォルダが自動的 に生成されます。

/GPSLOG

このフォルダに、日付ごとにログファイル が保存されます。

保存されるファイルは次のように名前が付 けられます。

G_yymmdd.log

ファイル名は GPS 情報の取得日を表し、 yy は西暦の下 2 桁、mm は月(01~12)、dd は日(01~31)を表します。

ログファイルには設定に従った GPS 情報 が記録されます。GPS 情報が取得できない 場合は記録されません。

記録可能な GPS 情報について

本機で取得した GPS 情報は NMEA-0183 に準拠したデータで記録されます。 NMEA-0183 とは、米国・National Marine Electronics Association が定めた通信プロ トコルに関する規格の1つです。 この規格を使用して、位置や時刻などに関 する情報をログデータ化します。

本機は次の7種類のフォーマットに対応しています。

(1)	GGA
\smile	

- ② GLL
- 3 GSA
- ④ GSV
- ⑤ RMC
- ⑥ VTG
- ⑦ ZDA

保存する NMEA メッセージの組み合 わせ

保存するNMEAメッセージは次の2種類の 組み合わせから選択が可能です。

- ① GGA + RMC
- ② GGA + GLL + GSA + GSV + RMC + VTG + ZDA

工場出荷時は「GGA+RMC」に設定されて います。

「GGA+GLL+GSA+GSV+RMC+VTG+ ZDA」で記録したい場合は QBiC メンテナ ンスツールを用いて設定を行ってください。

詳しくは

→「QBiC メンテナンスツールを使う」 を確認してください。

GPS 情報で時刻を合わせる

本機は、GPS 情報を利用して現在時刻を設 定することができます。これを GPS アシ スト機能と呼び、工場出荷時はオフに設定 されています。

GPS アシスト機能がオンに設定されてい る場合、本機の電源がオンになり、最初に 取得した GPS 情報を利用し本機内部の時 計を合わせます。

GPS アシスト機能をオンにする場合は QBiC メンテナンスツールを用いて設定を 行ってください。

詳しくは

→「QBiC メンテナンスツールを使う」 を確認してください。



GPSは衛星から電波を受信し位置を測定するシステムです。できる限り上空の開いた場所でご使用ください。次のような場所では衛星からの電波を遮断または反射してしまい、位置が正しく検出できない恐れがあります。

- ・屋内、地下、森や林の中、高い建 物や建造物の近く、トンネル内
- 高圧電線の近く、磁石や金属、電
 気製品の近く
- GPS衛星からの電波が受信しにくい環 境では、GPSの捕捉に時間がかかるこ とがあります。
- GPS衛星の位置は変化します。
 撮影する場所や時刻、環境によっては正しく測位できないことや、誤差が生じる場合があります。
- 4. GPS機能はご使用になる国や地域の規 則に従ってください。

カメラエラーの内容を確認 する

本機が何らかの原因でエラー状態になった 場合、エラー動作を行い、エラーであるこ とを通知します。

エラー動作は次の4種類があります。

エラー①	誤った操作をした場合、実行
	を知らせるビープ音を出さな
	いことで動作が完了しなかっ
	たことを示します。
エラー②	すべての LED が1秒間点滅
	し、エラー音がビビビッと鳴
	ります。
	その後元の状態に戻ります。
エラー③	すべての LED が3秒間点滅
	し、エラー音がビビビッと鳴
	ります。
	その後本機の電源が自動的に
	オフになります。
エラー④	すべての LED が点滅し、エラ
	一音が断続的にピーッと鳴り
	ます。
	本機のいずれかのスイッチを
	押すとエラーが解除され、メ
	ンテナンスモードに移行しま
	す。

対応方法はエラー内容により異なります。 詳しくは本マニュアルの各項目を確認して ください。

<u>QBiC S ユーザーズ・マニュアル</u>

本機をリセットする

本機の電源がオフにできない場合やスイッ チを押しても操作できない場合など、本機 側で異常が発生した際は、ピンなど先のと がったものを使用して、本機背面にあるリ セットスイッチを押してください。



リセットスイッチを押すと本機の電源は一 度オフになります。

時計情報などの各種設定は変更されません が、録画中に押された場合はファイルが正 常に保存されません。

リセットスイッチを押しても症状が改善さ れない場合、弊社までご連絡ください。 カメラ、ツールのアップデート

について



本機および QBiC メンテナンスツールの機 能追加・操作性・性能の向上等を目的とし たアップデートを不定期で実施することが あります。

本機のアップデートに関しては、お客さま ご自身で行っていただくほかに、弊社カス タマーサービスでも有償にて承っておりま す。

最新情報およびアップデート手順に関して は、QBiC ウェブサイトにて情報を公開し ています。

詳しくは QBiC S サポートページ (<u>http://www.elmoqbic.com/qbics/</u>)を確認し てください。



付録

本機のお手入れ方法について

普段のお手入れ

乾いた柔らかい布で拭いてください。

シンナーやベンジン等の強溶剤を使用しないでください。故障の原因となります。

水で濡れた場合のお手入れ

水やほこりの多い場所で使用した後、また汚れがひどい場合は、端子部(USB ポートや WiFi カードスロット)およびバッテリー部のカバーの装着を確認し、きれいな水で洗い、柔らか い乾いた布で水滴をふき取り、風通しの良い日陰で完全に乾かしてください。 海水がかかった場合は、真水で洗ってください。 水滴や異物をそのままにしておくと防水性能の低下や破損の原因になることがあります。

水洗いをして砂粒やほこりを取り除くまでスロットやカバーの開閉はしないでください。 異物が混入するなど浸水の原因になることがあります。

石けんや中性洗剤、薬品で洗わないでください。防水性が低下します。

故障かな?と思ったら

電源がオンにな	→バッテリーは充電されていますか?
らない	
	バッテリーが十分に充電されていない場合、電源がオンになりませ
	\mathcal{K}_{\circ}
	充電してから再度実行してください。
	→低温の場所で使用していますか?
	低温の環境で使用する場合、一時的に電池の性能が低下している可
	能性があります。
	本機をポケットの中に入れるなどして少し温めてから再度電源をオ
	ンにしてください。
警戒録画できな	<u>→バッテリーは充電されていますか?</u>
い	
	一定量の充電がされていないと録画できません。
	充電してから再度実行してください。
	<u>→WiFi カードがロックされていませんか?</u>
	ロックされている場合球画でさません。ロックを解除してから再度 中にしてください
	→WiFi カード microSD カードけ正堂ですか?
	microSD カードは QBiC メンテナンスツールを使用してフォーマッ
	トし、それでも録画できない場合は別のカードを使用して再度実行
	してください。
	WiFi カードを別のものと取り替えて再度実行してください。
	付属の WiFi カードは QBiC S 専用品です。
	新しいカードをご希望の際は、弊社カスタマーサービスまでご連絡
	ください。
充電時間が長い	→付属品の AC アダプタを使用して充電することにより充電時間を短
	縮することが可能です。
	PC の USB ポートに接続して本機を充電することは可能ですが、付

	属品の AC アダプタを使用して充電した場合と比較して充電時間が
	長くなります。
録画した映像に	
ケラレ(映像の端	
に不要な部分が	→超広角レンズの性能であり、故障ではありません。
写りこんでしま	
う)が発生する	
GPS 信号が捕捉	→環境によっては GPS 信号を捕捉しにくい場所や場合があります。
されない	
	周囲に建物が比較的少ない場所などを選んで再度実行してくださ
	い。
	GPS の制限事項については本マニュアル「GPS 機能について」を
	確認してください。
すべての LED が	
点滅する/	→本マニュアル内「カメラエラーの内容を確認する」を確認してくだ
エラーが表示さ	<u>さい。</u>
れる	
電源供給状態で	
も POWER LED	<u>四風ハラララーかに使用の朔间にように</u> 有社9 ると、本儀はハツナリ
が赤点灯する	<u>一使用仏感と認識するにの小点別になりますが政障ではのりません。</u>

LED 動作一覧

各 LED の消灯/点灯/点滅が表す動作状態を記します。

POWER LED						
	電源供給時			バッテリ-	バッテリー使用時	
	充/放電中	充電完了状態		残量十分	残量 25%以下	残量 1%以下
電源オン	赤/点灯	青/点灯		赤/点灯	赤/点滅	赤/早点滅
電源オフ	赤/点滅	消灯	消灯		消灯	消灯
MNT LED			-			
メンテナン	/ スモード		赤点灯			
警戒モート	*		消灯			
WiFi LED						
WiFi オン		アドホック			インフラスト	ラクチャー
	通信中	青/点灯				
	検索中	青/点滅			緑/点滅	
WiFi オフ	/警戒中	消灯				
SCHEDUL	SCHEDULE LED					
スケジュールオン時 (警戒中)		緑点	灯			
スケジュールオフ時		消灯	消灯			
KEYLOCK LED						
キーロック	オン時にスイ	′ッチ押下	緑早点滅			
キーロックオフ時		消灯				
REC LED						
警戒録画中		緑点灯				
そのほかの状態		消灯				
全 LED						
温度異常		早点滅				
WiFi カード未挿入状態で電源オン		_	→ 電源オフ			
そのほかの状態エラー		早点	滅			

スイッチ動作一覧

本機のスイッチで設定できる機能/設定は以下のとおりです。

POWER スイッチ	
1 秒長押し	電源オン
2 秒長押し	電源オフ
	マスストレージモードで電源オン
の存在する	※USB ケーブルで PC と接続し、電源オフの状態で操作すること
WiFi スイッチ	
短押し	WiFi オン/オフ切り替え
2 秒長押し	アドホック/インフラストラクチャー切り替え
SCHEDULE スイッチ	
2 秒長押し	ったジュール右効/無効切り抜え
(警戒モード時)	スプレユール有効/ 無効例の目え
LIGHT スイッチ	
短押し	LED オン/オフ切り替え
REC スイッチ	
短押し	擎武モードに我行(擎武録両閉他)
(メンテナンスモード時)	
2 秒長押し	メンテナンスモードに移行 (墜或録画終了)
(警戒モード時)	
REC スイッチ + SCH	EDULE スイッチ同時
2孙트畑」	KEYLOCK 解除
	※警戒モード時に KEYLOCK がオンになっている場合
POWER スイッチ + S	CHEDULE スイッチ +LIGHT スイッチ 同時
► 秒 ⋿ 抽 ।	工場出荷時設定に戻す
5	※本機が電源オフの状態で操作すること

主な仕様

カメラ仕様			
水平画角	135°(X1)、185°(D1)		
有効画素数	210 万画素		
撮像素子	1/3 インチ CMOS センサー		
開放F値	F2.2		
GPS	搭載 (NMEA0183 フォーマット対応)		
WiFi 対応規格	IEEE802.11n		
バッテリー	リチウムイオン電池 3.7V 1800mAh (取り外し可)		
電池稼働時間	2.5 時間 (動作条件: 録画、そのほか)		
充電時間	3.5 時間 (付属充電器使用時)		
WiFi モード	インフラストラクチャー / アドホック		
USB	micro B (給電 / 充電 / マスストレージモード)		
ホワイトバランス	フルオート		
「「「」」である。	X1: 179g		
貝里	D1: 181g		
	X1: 幅 62.6mm x 奥行 53.7mm x 高さ 64.6mm		
外形寸法	D1: 幅 62.6mm x 奥行 60.0mm x 高さ 64.6mm		
	(いずれも突起部含まず)		
記録方式			
記録媒体	micro SDHC Class6 以上		
ファイル形式	H.264 (独自形式)		
撮影記録仕様			
	HD 1080 (1920 x 1080)		
	※警戒録画時のライブビュー不可		
録画解像度	HD 720 (1280 x 720)		
	FWVGA+ (864 x 480)		
	VGA (640 x 480)		
ビットレート	エコノミー / ノーマル / ファイン		
	※カスタマイズ設定が可能		
	30, 15, 10, 5, 3, 1 fps		
フレームレート	※録画解像度が HD 1080 の場合 / 画質(ライブ)が 5 の		
	場合は、30, 15fps は設定できません。		
録画時間(32GB)	約8日間* (VGA / 5fps / エコノミー)		
┉」」→「町(3200)	*録画時間は目安です		

撮影能力	
最低撮影可能照度	1.5lux
環境性能	
動作温度	$0 \sim 40^{\circ} C$
保存温度	-20 ~ 60°C
防水	あり IPX8 (USB カバー装着時)

ツール動作環境

QBiC メンテナンスツール、QBiC プレイヤー、QBiC 日数カリキュレーターのツールが動作する上で次の前提条件が必要になります。

OS	Windows8、Windows7 SP1、 Windows Vista* ¹ SP2、Windows XP* ² SP3	
CPU	Intel Core i5 同等以上	
RAM	4GB 以上	
HDD	空き容量 1GB 以上	
ディスプレイ	1280x1024 ピクセル以上	
71×701	約 1670 万色	
グラフィック	GeForce 210 同等以上	

*1 Windows Vista 環境ではサンプル動画を表示できない制限事項があります。

*2 Windows XP 64bit 版は除きます。

アフターサービスについて

[保証および修理]

無償保証期間

無償保証期間は、お客様の商品ご購入日より1年間とさせていただきます。 商品に同梱されている保証書は大切に保管してください。 無償保証期間終了後は有償での修理となります。

無償保証範囲

無償保証につきましては、その期間中、QBiC Sユーザーズ・マニュアルやカタログなどに 記載された使用環境・使用方法や注意事項に従ってご使用いただいた場合に限らせていた だきます。

無償保証期間中の有償修理

無償保証対応期間内に関わらず、次のような場合には有償修理とさせていただきます。

- (1) 使用上の誤り(QBiC Sユーザーズ・マニュアルに記載された操作以外の誤操作等)により生じた故障および損傷
- (2) 弊社の指定する修理取扱店以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障および 損傷
- (3) 泥・砂・水などのかぶり、落下、衝撃などが原因で発生した故障および損傷
- (4) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、公害、落雷、異常電圧およびそのほかの天災地 変等による故障および損傷
- (5) お買い上げ後の輸送、移動、落下および保管上の不備等による故障および損傷
- (6) 保証書を紛失した場合
- (7) 販売店名、ご購入年月日等の記載事項を訂正された場合

修理条件

- (1) 修理は、弊社製品のみを対象といたします。
- (2) 修理は、原則弊社にて製品をお預かりした上での修理とさせていただきます。 送付される場合の送料、もしくは修理品のご持参、修理品お持ち帰りの際の交通費は お客様のご負担にてお願いいたします。
- (3) 修理を希望される場合は、まず弊社お問い合わせ相談窓口までご連絡ください。連絡先につきましては下記「お問い合わせ相談窓口」をご覧ください。

[そのほかのアフターサービス]

お問い合わせ相談窓口

QBiC Sに関する下記のお問い合わせを承ります。

- (1) 修理に関するお問い合わせ
- (2) 使用方法、販売、そのほかに関するお問い合わせ

弊社への連絡先に関しては製品に同梱されている保証書をご覧いただくか、下記URLから 確認してください。

QBiC S サポートページ: <u>http://www.elmoqbic.com/qbics/</u>

ELMO
株式会社 エルモ社
本社 〒467-8567 名古屋市瑞穂区明前町6番14号 http://www.elmo.co.jp/ 製品に関するお問い合わせ:
開発営業部 TEL: 052-821-3141 FAX: 052-821-4400 E-mail: online-info@elmo.co.jp
修理に関するお問い合わせ: カスタマーサービス TEL: 052-811-5135 FAX: 052-811-3720 E-mail: service.co@elmo.co.jp

6X1MWGF04 R6_Xxx